

看護学雑誌 第40巻 総目次

1976年1-12月

(表示は、題名：筆者名、号数、ページ数)

マイ・オピニオン

看護理論とその実践：氏家幸子，1，13.
現任教育は婦長から：久保田トシ子，2，121.
人を理解するということ：樋口康子，3，229.
福祉施設での看護：石沢生子，4，337.
いま看護教師に求められていること：小出順子，5，445.
温かい受け入れの気持ちをもった看護婦に：落合敏子，6，553.
三病息災：須谷照子，7，663.
日々のかかわり合いのなかで：金田ミチエ，8，769.
言葉遣いと看護：笠原トキ子，9，893.
医療の専門化のなかで：稲田美和，10，1001.
同情心：平澤ひろ子，11，1109.
日々の実習指導で思う：下林周子，12，1217.

特集

患者にとって‘夜’とは何か

子どもの夜と私という看護婦：若松澄子，1，15.
眠りへとさそう援助——夜のもつ空間の重み：木原陽子，1，22.
夜の生み出す不安の深さ：太田敏子，1，27.
夜勤で知った看護の喜び——沈黙を通して知る心の触れ合い：落合よし子，1，33.
座談会・夜には出会いのチャンスが秘められている：岡本玲子・柏倉栄子・青木久子，1，38.

看護評価を問う

看護評価はどのように可能か：吉武香代子，2，123.
看護評価に果たす看護記録の意義：江副信子，2，129.
看護場面の再構成を通して自己評価を考える：中村ヒサ，2，137.
意識的な看護への取り組みを：石川操，2，144.

看護のプロセスを分析する

逐語記録からの学び——慢性腎不全患者 M 氏の場合
逐語記録による事例研究——‘慢性腎不全患者 M 氏

の場合’によせて：見藤隆子，3，231.

私のとらえていた M 氏：吉沢淑子，3，235.

慢性疾患患者を自立の方向へ促すための看護面接による事例研究——慢性腎不全患者の場合：武谷久美子，3，238.

座談会・プロセスレコードの意味と限界：赤沢陽子・小林あきみ・安倍宮子・当間節子，3，253.

看護に生かすプロセスレコード——学生指導から看護研究まで：池野栄子，3，266.

なぜ事例を検討し合うのか

何を話し、どう変えられていったか——事例検討会からの学び：橋本きみ，4，339.

事例検討会に参加して

自分の看護行為を振り返ることの連続：後藤由利子，4，350.

病気だからと考えることの危険性：金田寿美江，4，351.

卒後教育における事例検討会の必要性：飯田澄美子，4，353.

事例検討をなぜし続けるのか——実践の場で可能にするために：平田満子，4，362.

事例検討を通して看護の個別性の徹底を：中井英子，4，367.

患者の生活の場へ——訪問看護の実践

医療・看護の生活化を——患者の生活問題に目を向けよう：山手茂，5，447.

‘在宅看護研究会’の組織と活動：木下安子，5，453.

難病患者への訪問看護記録——筋萎縮性側索硬化症患者 S.W. さんの死まで：杉浦徳子，5，458.

座談会・生活の場に看護の手を——初めての患者訪問から：川村佐和子・戸田典子・西川有里・納賀洋子・久慈敦子・海保千鶴子・川井郁・金泉こずえ・豊川良子・立石明美，5，475.

この人たちとの出会い——私の訪問看護記録から：山口延子，5，487.

母親の発病により離散した家族——私の訪問看護記録から：速水敏子，5，492.

精神分裂病の老妻を抱えた夫とその家族——私の訪問
看護記録から：水野優子，5，497.

患者‘理解’とは——日々のかかわりのなかで
患者を理解すること——看護婦である私自身を
みつめることを通して：山田信子，6，555.
‘でも……’の理解をめぐる：見藤隆子，6，560.
私の体験から——コミュニケーションを保つというこ
と：横尾京子，6，564.
外科の日常性と患者理解について：近藤佳苗・浅井む
つ子，6，570.
‘全人的理解’とは：岡本玲子，6，576.

付き添い看護を考える
付き添い看護論：川島みどり，7，663.
家族の付き添いと病院看護：岩井妙子，7，669.
付き添いに期待される役割——イギリスにおける看護
の体験を通して：季羽倭文子，7，673.
付き添い看護料の現状——基準看護料との関係を中心
に：大坂多恵子，7，679.
付き添い看護の社会学：水野肇，7，686.

カレン裁判——‘尊厳ある死’と看護
カレン裁判の経過：編集部，8，771.
対談‘死ぬ権利’はどう裁かれたか——カレン裁判をめ
ぐる法律と医療のかかわり：唄孝一・熊谷義也，8，
776.
看護が問われるものは何か：清水昭美，8，790.
カレン裁判——私はこう考える
生命をめぐる慟哭：大渡順二，8，800.
はたして‘尊厳なる死’なのだろうか：木下安子，8，
802.
死の瞬間まで‘生きつづけること’こそ：寺本松野，
8，804.
やはり生命軽視への危惧は残る：田河内ツル子，8，
806.
‘人間性回復’への援助・技術の開発を：川村佐和子，
8，807.
‘生きている’ことの証を探る：木原陽子，8，809.
より人間らしく‘生かす’ための援助を——‘植物人間’
看護の現場から：紙屋克子，8，812.
ジレンマをどう調整する？——‘生’と‘死’の選択——
欧米の動き（1）：宮野晴雄，8，816.

准看護制度廃止への展望——看護の質の向上を目指
して
准看護婦制度の歴史と現状——廃止にむけての展望：
小島ユキエ，9，895.
自らを見つめ直し准看護制度廃止の真の提唱者としての

努力を：中島美枝子，9，906.
矛盾の多い准看護制度：千葉幸子，9，913.
准看護生活 18 年：前嶋昭子，9，917.
ベテラン准看護婦の声を聞いて：永間征子，9，922.
真の看護の質の向上のために：岩崎エイコ，9，926.
大森文子会長に聞く 准看護制度廃止とこれからの看護：
大森文子，9，931.

看護と薬とのたたかい
疼痛即鎮痛剤からの脱却を——患者の訴えにより麻薬
に依存してしまった事例から考える：佐藤恵子，10，
1003.
痛みの除去に対する看護のかかわり合い——鎮痛剤使
用を少なくするために：川崎市立川崎病院看護研究
委員会，10，1009.
重すぎる心の苦痛を痛みに託す——20 年にわたり麻薬
依存傾向のあった患者へのアプローチ：芦村カズヨ，
10，1016.
看護婦として薬とどうかかわり合うのか：湯原孝子，
10，1020.
くすりを超えるもの：駒松仁子，10，1025.
座談会・精神科における看護と薬：渭原武司・香川純
一・二宮富美江・福地由美子，10，1029.

‘老い’の心
老人の涙と歌——音楽とインテーク・ワークから探る
老人の心：田中多聞，11，1111.
老人のことばと行動——‘老い’を生きる老人たちへの
ケアとは：阿部初枝，11，1117.
老人と排泄——排泄の世話になることの悔しさ，恥ず
かしさ：島田妙子，11，1121.
老人と性——‘老いらくの恋’に息づく老人たち：船越
久栄，11，1126.
私が出会った老人たち——その生きざまと死にざま：
大工原秀子，11，1133.
老いの心へのアプローチ——精神科医の立場から：木
戸又三，11，1138.
老いの心のゆくえ知れず：松本こずえ，11，1142.

いま看護記録に問われるもの
今日の看護記録のもつ諸問題：川島みどり，12，1218.
新しい看護記録の試み（1）：門馬かよ子，12，1226.
新しい看護記録の試み（2）：牛込三和子，12，1233.
新しい看護記録の試み（3）：星野芙美子，12，1239.
新しい看護記録の試み（4）：山田都市子，12，1243.
新しい看護記録の試み（5）：諏訪赤十字病院内科病棟，
12，1247.
新しい看護記録の試み（6）：宮永能子，12，1251.
新しい看護記録の試み（7）：柴田つや，12，1255.

座談会・新しい看護記録の実践的検討：川島みどり・牛込三和子・星野芙美子・栄田つや・門馬かよ子・宮永能子，12，1259.

看護記録の分析と評価(1)——褥瘡の記録に関する一考察：益子秀子・宮崎和子，12，1268.

看護記録の分析と評価(2)——不安のある患者の看護記録について：山口桂子・宮崎和子，12，1275.

特別論稿

対談・70歳を過ぎた人間の生き方と死に方——‘医療辞退連盟’を提唱する本当の意図：守屋博・木下安子，1，66.

資料・医療辞退連盟を提唱する：守屋博，1，74.

資料・終末医療の中心は看護：木下安子，1，73.

対談・看護は手のワザ，理屈は灰色です——戦前から戦後へ看護はこう変わった：古屋かのえ・べっしょちえこ，2，174.

精神病院帳票に残る‘古き’もの：鈴木淳・垣花順子・岸本君子，6，633.

‘生’と‘死’の選択 欧米の動き(2) 第三者による補完的な判断：宮野晴雄，9，937.

第22回医学書院看護学セミナーより——変わっていく医療システムのなかでのナースの新しい役割と位置づけ：日野原重明，11，1148.

ベッドサイドの看護

成人・一般

長期入院，予後不良患者と家族へのかかわりのなかで：岩水真佐子，2，152.

回腸瘻を造設した患者の装具の考案：山川幸子，3，274.

糖尿病患者への生活指導：石坂鈴子，3，278.

硬膜外腫瘍患者のリハビリテーション看護：石本秋子・小林満寿子・大饗厚子・清水たか江，4，370.

脊椎・骨盤に広範な癌転移をきたした患者の体位変換：金田ミツコ，4，377.

慢性関節リウマチ(上下肢拘縮のある)患者の自立への援助：豊巻邦子・水谷弘子・中山スミ子，6，592.

予後不良患者の‘死の受容’についての考察：児玉桃重，6，596.

看護問題解決のための方法論——点滴に不安をもっていた患者の1事例から：岡田幸子，7，694.

単球性白血病患者の寛解までの看護の実際：針生セツコ，7，699.

看護婦——患者(家族)の相互作用の検討——家庭生活の中に意味を見出した1例：岡田幸子，8，850.

自分の病気が悪性と知った患者に接して：国立高知病院整形外科病棟，9，945.

長期経鼻挿管患者とのコミュニケーションから学んだ

もの：柴野千恵子，10，1050.

視力障害に不安をもつ患者への援助：榎原常子，11，1160.

癌末期患者の疼痛への看護：吉岡秀子・西村千香，11，1164.

老人

寝たきり老人の排尿訓練とADLを試みて：谷口早苗，1，54.

意欲のない高齢患者の自立への援助：牛山フミ，2，121.

意欲のない脳卒中後遺症の老人の看護：日当陽子，6，588.

日常生活範囲の拡大への援助——盲目の老人透析患者の場合：吉川ふみ子，10，1045.

母性・小児

水頭症患児の看護：小林桂子，1，50.

未熟児室退院前の育児実習——母子関係の樹立を目指して：田中須賀子・宮沢時子・石黒富美子，2，157.

静脈内持続点滴施行中の小児の病衣：渋川和枝，6，583.

重症心身障害者の排泄自立への援助：国立療養所神奈川病院11病棟，10，1040.

ナーシングカンファレンス

日本大学医学部付属板橋病院6C病棟

安静を守らないうつ血性心不全の患者，1，61.

呼吸困難および多量の痰を伴う34歳の主婦，2，164.

著明な脱毛と口内炎の持続する女性，3，283.

退院をひかえた病識の薄い糖尿病患者，4，384.

強い不安を訴える肺性心の患者，5，502.

体位変換を拒む悪性腫瘍の17歳の青年，6，600.

研究と報告

小児の入院における不安について 第1報 不安の表現のとらえ方：今野恵子・長カツ子・佐藤春子・若林ちづ子・布施桂子・石川摩里子・鳥井ウメヨ，6，608.

術後患者の体動の循環器系，特に血圧と脈拍に及ぼす影響について：中井英子・成田とも子・青木紀道・小畑美津子・芝田京子・須藤明子，7，704.

開心術中における褥瘡防止——手術台のクッション材の比較検討を中心として：川畑安正，8，829.

学生の研究

腹部両下肢前面火傷にて植皮術を受けた患者の看護：小寺真知子，2，203.

内反骨切り術後尿閉を合併した患者の看護：木村康子，4，395.

看護婦との人間関係が阻害されている患者への援助
——看護技術を媒体としての人間関係成立への試み：
加賀屋くみ子，10，1054.

臨床看護婦の看護業務面からみた看護意識：谷川茂子，
11，1168.

人間関係：大段智亮

序論——人間関係への関心，2，288.

狼小女・カマラの生涯——人間関係の第1命題，4，389.

‘人間関係’が治療する(1)——人間関係の第2命題，
5，529.

‘人間関係’が治療する(2)——人間関係の第2命題，
6，603.

仕事の土台は‘人間関係’(1)——人間関係の第3命題，
7，715.

仕事の土台は‘人間関係’(2)——人間関係の第3命題，
8，857.

リーダーシップの問題(1)——‘長病’診断学，9，950.
リーダーシップの問題(2)——‘長病’診断学，10，
1060.

病院のなかの人間関係(1)，11，1189.

病院のなかの人間関係(2)，12，1297.

第5病棟の彼と彼女たち：前浜政子

新ちゃんのこと(1)，1，95.

新ちゃんのこと(2)，2，170.

僕は大野連太郎(1)，3，310.

僕は大野連太郎(2)，4，417.

5病棟のテレビ，6，638.

鍵(1)，7，741.

鍵(2)，8，866.

寝たきり老人の訪問看護：島田妙子

‘当たり前のこと’からの出発，1，100.

‘招かれざる客’にならないために，2，208.

家族から学ぶ看護の新鮮さ，3，314.

老人を‘その気’にさせる働きかけ，4，420.

老人を取り巻く家族の動き，5，526.

床ずれ，6，614.

皮膚の清潔，7，744.

歩く，8，864.

見えない‘約束’，9，974.

家族の不安，10，1082.

退院，11，1194.

老人から学ぶ，12，1302.

くすりの毒性：高橋日出彦

サリドマイド・ショック——新しい毒性学の出発，1，93.

ウイントマイロンが世に出るまで——新薬の安全性の

評価，2，201.

キノホルムの教訓——薬の安全性を守るのはだれか，
3，309.

クロロキン——くすりの眼毒性，4，399.

クロミフェン——薬理作用の種差，5，507.

スルホンアミド——薬物の相互作用，6，613.

サクシニールコリン——特異体質，7，723.

ペニシリン——薬物アレルギー，8，863.

バルビタール——薬物耐性，9，955.

モルヒネ——薬物依存性，10，1085.

マリワナ——薬物誤用，11，1193.

LSD——Psychedelics，12，1279.

ベーチェット病の看護学生の手記：安藤より子

初めての入院，7，746.

悪夢のような再入院，8，870.

激しい痛み、そして手術，9，976.

術後はじめての歩行，10，1086.

希望があるうちはいい，11，1196.

ユニホーム

国立武蔵療養所：日下とき子，1，1.

聖マリアンナ医科大学付属病院：戸塚規子，2，109.

聖マリアンナ医科大学付属病院：戸塚規子，3，217.

聖マリアンナ医科大学付属病院：戸塚規子，4，325.

さきたま病院：平田瑛子，5，433.

名古屋クリニック：池井みや子，6，541.

越谷市立病院：鈴木久子，7，649.

越谷市立病院：鈴木久子，8，757.

東海クリニック：匹田美佐子，9，881.

岡山病院：岡山義雄，10，989.

横浜市立大学医学部付属病院：江頭たや子，11，1097.

帝京大学医学部付属病院：柴田怜子，12，1205.

アイディア

重症心身障害児(者)用運搬車：小野寺千代子・下山田
深雪，1，2.

らい患者のための足底挿板・ナースコール・自助具：
芦村カズヨ，2，110.

あみあげ装具・体を支えるサークル：芦村カズヨ，3，
218.

動脈注入器装着用具：宮島道子・鴻上文子・ほか，4，
326.

チアノーゼ比色計・小児用簡易酸素 TENT：田辺輝子・
梅本純代，5，434.

スピットトレイ・低温キャリングボックス：丸井君子・
道久多鶴代・梅本純代，6，542.

水枕乾燥用架・ビニールシート固定用具：坂本米子・
森口田鶴子・田中行紀子・川崎恵子，7，650.

老人用安楽尿器架・改良アンプル入れ：西村欣子・清水朋栄，8，758.

小児の点滴用離被架：東京都立荏原病院小児病棟，9，881.

回転式整理棚付き円形テーブル：さきたま病院，9，882.
灌流排液量警報ブザー：朝岡みどり・ほか，10，990.

組立式簡易担架：稗田ツヤ子，11，1098.

酸素吸入用加湿器(移動用)：稗田ツヤ子，12，1206.

グラフ

とまどいつつも患者とともに歩みたい——国立療養所多磨全生園1病棟の夜勤看護婦，1，6.

病人にはしてはいけない——国立箱根療養所1病棟，2，114.

難病とは何かを問う——ペーチェット病と闘う青春を描いた映画“太陽は泣かない”，3，222.

障害児教育とはなにか，を問いつづける——映画“光の中に子供たちがいる”にみる新しい保育の実践／小児がんへの理解を訴える——映画“がんの子供の幸せを”，4，330.

難病の夫とともに生きる——多発性硬化症のYさんを訪問して，5，438.

ICN 東京大会の推進と准看廃止を再決議——昭和51年度日本看護協会通常総会／第22回医学書院看護学セミナー2年ぶりに開催，6，546.

だれがこの婦長を非難できよう——映画“カッコーの巣の上で”／エンカウンター・グループ——人間理解のために：大須賀克己，7，654.

おばさんもう帰っちゃうのつまらないな——国立小児病院のボランティア活動，8，762.

病をどこかへ置き忘れてしまった——第5病棟の彼と彼女たち——国立療養所長島愛生園，9，886.

未熟児にも母乳を——倉敷中央病院未熟児センター，10，994.

老いの生活，11，1102.

ぜん息なんかに負けないぞ——横浜市立二ツ橋学園，12，1210.

看護界ニュース

国際婦人年日本大会開かる／看護学生看護研究学会(第8回)／日本看護学会地域看護分科会(第6回)，1，10.

毎日・日本研究賞に訪問看護の実践記録が入賞／第7回近畿地区看護研究学会／第12回九州地区看護研究学会，3，226.

准看制度廃止総決起大会／第8回東京地区看護研究学会，4，334.

第1回日本精神科看護技術協会総会・学会／第2回日本病院会学会，7，658.

北海道地区看護研究学会(昭和51年)／日本看護学会教育分科会(第7回)／日本看護学会地域看護分科会(第7回)／日本看護学会成人看護分科会(第7回)／東京看護学セミナー第12回公開セミナー，8，766.
世界初の“安楽死国際会議”開かる／第7回日本看護学会管理分科会，10，998.

第2回医療と教育に関する国際セミナー／ハーウィッツ ICN 常任書記来日／第7回日本看護学会成人看護分科会，11，1105.

第9回東北地区看護研究学会／第10回関東地区看護研究学会／第31回国立病院療養所総合医学会，12，1214.

書評

痛みをもつ患者の看護：坊城中子，1，102.

〈新刊紹介〉Basic Pediatrics for the Primary Health Care Provider：鈴木久子，1，102.

人間社会と遺伝学：中川礼子／三歳児：吉武香代子，2，210.

老人看護：藤原和子／成人病の発見から管理まで：山下章，3，316.

医療心理学：田代順子／老人心理へのアプローチ，4，423.

涙めひっこめ——看護婦青春の軌跡：堀内静子／病者のこころの動き：富田幾枝，6，642.

依存の精神医学：中山洋子／ICU呼吸と循環の管理：若林ナナミ，7，749.

健康と食物の考え方：山手茂／臨床看護マニュアル：川島みどり，8，873.

谷間の生霊たち：星美代子／ベッドサイドME入門：神島幸子，9，980.

痛みと人間：渡辺徳子／看護のためのバイタルサインの知識：添崎恭子，10，1089.

看護婦にできるリハビリテーション(第2版)：阿蘇和子，12，1304.

看護サロン

私の考える“看護婦の実像”：谷川敦子／共働きとナース：小林幸子／日々の多忙さの中で：矢吹佳子，1，104.

初めての臨床実習を体験して：大井みどり／なんのために生きるのか？：清藤名津雄，2，214.

患者の性の悩み：松本こずえ／日々の小さな権利：伊川すすむ／職業観を考える，3，320.

医者が患者になる時——患者中心の医療とは：南亮，4，426.

映画“太陽は泣かない”を観て：大田みゆき，門脇信子／看護教員養成講習会に出席して：荒井愛子，5，536.

ある日の病室：千島染太郎／患者さんにしかかれて：

松本こずえ／野外活動に参加して：三本チドリ，6，644.

精神医療の治安主義とその申し子＝精神外科告発の映画“カッコーの巣の上で”を観て：青木薫久／精神科実習を終えて：尾崎登子・小田博美，7，752. 患者を人間としてどこまで看ることができるか：鷹井清吉／映画評“カッコーの巣の上で” 看護者の権威の分散を：矢野真二，8，872.

私の入院体験から：北原隆子／難病患者との出会いの中で：荒川信子／人間の内的自由と尊厳——映画“カッコーの巣の上で”を観て：土田和美，9，986.

死を予期する疾患を持つ患者への助力を考える：篠田信子／准看制度廃止に思う：今成邦子，10，1090.

私にとっての老人たち——祖父母と暮らした日々の中から：中村文／医学書院看護学セミナーに出席して：今成邦子，11，1200.

‘私は看護婦です’と言ってほしい：伊川すすむ，12，1306.

あるうらやましさを起こった疑問：矢吹佳子，12，1309.

褥瘡の病理・予防・治療：木村哲彦

治療のコツおよび患者・家族に対する指導の要点，1，77.

加齢と婦人科疾患：鈴木秋悦

更年期・老年期(1)，1，81.

更年期・老年期(2)，2，189.

注射事故について：赤石英

大腿部筋注，1，85.

静脈注射，2，193.

最近における注射事故，3，297.

やさしい心電図のみかた：高階経和

臨床に必要な心臓の生理と解剖，1，89.

臨床的意義と正常心電図，2，197.

心電図をとる際の注意，3，301.

異常調律(1)——P波とPR間隔，4，409.

異常調律(2)——P波とQRS群，5，517.

左右の心室肥大と心電図，6，625.

虚血性心臓病と心電図，7，756.

リウマチ性心臓病と心電図，8，841.

心筋障害・電解質障害と心電図，9，965.

先天性心臓病と心電図，10，1077.

薬剤と心電図，11，1181.

心電図のセルフテスト，12，1289.

難病——在宅ケアの実際

難病とは何か：木下安子，2，185.

家庭で死を迎えた進行性筋ジストロフィー症患者：

柳橋佐江，3，293.

‘まばたき’による会話——家族に看取られて死んだ筋萎縮性側索硬化症患者：酒井ツネ，4，401.

学齢に達した脳性麻痺児Kちゃんとその家族：貝瀬繁子，5，509.

ある老人の死——家族に看取られた死からの学び：新津ふみ子，6，617.

在宅難病患者への訪問援助——3つの事例について：

菊地美津・芹沢道子・大久保カズ子・福田洋子，7，725.

パーキンソン病で寝たきりの老人患者：菅原恵子・高橋良江・小林薫・坂口孝子，8，833.

捻転ジストニー患者・家族への訪問援助：安田美弥子，9，957.

在宅難病患者と地域医療について：佐藤茂美，10，1065.

難病患者へのケースワーク活動の実際：川村佐和子，11，1173.

難病患者の援助体制を確立するために：山手茂，12，1281.

目で見える移動・介助の実技

老人—1 ベッド上での寝返りの方法(1)：木村莊兵衛，3，305.

老人—2 ベッド上での寝返りの方法(2)：木村莊兵衛，4，413.

老人—3 起き上がりの方法：木村莊兵衛，5，521.

老人—4 立ち上がりの方法：木村莊兵衛，6，629.

老人—5 歩行とその介助：木村莊兵衛，7，737.

寝たきり老人：木村莊兵衛，8，845.

脊髓損傷患者—1 基本的な移動・介助の仕方(1)：武田功，9，969.

脊髓損傷患者—2 基本的な移動・介助の仕方(2)：武田功，10，1077.

脊髓損傷患者—3 基本的な移動・介助の仕方(3)：武田功，11，1185.

脊髓損傷患者—4 ベッド上での移動・介助：武田功，12，1293.

‘私’と‘あなた’の対話：上野轟

‘ながめる’と‘みつめる’，4，405.

‘知る’と‘わかる’，5，513.

‘背負う’と‘引き受ける’，6，621.

‘対決’と‘対面’，7，729.

‘裸になる’と‘裸をみせる’，8，837.

‘あなたのため’と‘私のため’，9，961.

‘論理のことば’と‘私のことば’，10，1069.

‘肉体’と‘身体’，11，1177.

‘タテマエ’と‘ホンネ’，12，1285